

様式2の記入例 第21回社会福祉士学会 分科会発表申込要領 自主企画シンポジウム申込書

連絡担当者	ふりがな 氏名 福 祉 太 郎	ふくし たろう 会員番号 : 77777	所属する都道府県社会福祉士会名 : ○○□ 職種または役職 □□□□																								
	所属先名称 □▽○○△																										
	連絡先（自宅・勤務先） 住 所 : 〒888-8888 □□県○○市△△△	TEL : □□□-□□□□-□□□□ メールアドレス : ○○○○@○○○○○○○○○○○																									
	シンポジウムテーマおよびシンポジウムの概要（注1）																										
	テーマ： 入所型施設における苦情解決システムの課題と展望～真の利用者支援の仕組みを目指して～																										
	シンポジウムの目的： 利用者支援の仕組みのひとつとして、社会福祉施設においては苦情解決のシステムが導入にされているが、真に利用者支援の仕組みとして機能しているのか、ということが課題となっている。本シンポジウムでは、異なる施設において苦情解決の第三者委員として活動する社会福祉士がシンポジストとなり、入所型施設に共通する苦情解決システムにおける課題を明確化する。さらに、真の利用者支援となる苦情解決のシステムを実現するために課題解決にむけた取り組みのあり方を展望する。																										
期待する成果： 現在、多くの社会福祉士が入所型施設の第三者委員として活動をしているので、本シンポジウムを通して社会福祉士同士が苦情解決システムにおける課題やその解決にむけた取り組みについて共有化することができる。また、サービス提供者の立場にある社会福祉士にとっても、真に機能するシステムとしての苦情解決のあり方を再検討する機会となり、苦情解決システムを通して、社会福祉士としていかに利用者支援に取り組むことができるのかについて、議論を深めることができる。																											
時間配分： コーディネーター・シンポジスト自己紹介、活動の概要：60分 コーディネーターまとめ：10分 フロアからの質疑：30分 休憩：10分 シンポジスト補足：20分 フロアとの討議：40分 まとめ：10分																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th><氏名></th> <th><都道府県社会福祉士会名></th> <th><会員番号></th> <th><所属></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コーディネーター： 福祉 太郎</td> <td>○○□</td> <td>77777</td> <td>□▽○○△</td> </tr> <tr> <td>シンポジスト :</td> <td>○○○○○</td> <td>○○○</td> <td>○○○○○</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>△△△△△</td> <td>△△△</td> <td>△△△△△</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>□□□□□</td> <td>□□□</td> <td>□□□□□</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				<氏名>	<都道府県社会福祉士会名>	<会員番号>	<所属>	コーディネーター： 福祉 太郎	○○□	77777	□▽○○△	シンポジスト :	○○○○○	○○○	○○○○○	:	△△△△△	△△△	△△△△△	:	□□□□□	□□□	□□□□□	:			
<氏名>	<都道府県社会福祉士会名>	<会員番号>	<所属>																								
コーディネーター： 福祉 太郎	○○□	77777	□▽○○△																								
シンポジスト :	○○○○○	○○○	○○○○○																								
:	△△△△△	△△△	△△△△△																								
:	□□□□□	□□□	□□□□□																								
:																											
使用希望の機器の有無： <input checked="" type="checkbox"/> (パワーポイント) · <input type="checkbox"/> 無 会場の後方まで見えないので機材の使用は必要最小限とし、できるだけ印刷した資料をご用意ください。本シンポジウムの場合は、パソコンやプロジェクターを持ち込んでのパワーポイント使用が可能ですが、その場合、機材の設置は発表者でお願いします。また、会場によっては持ち込み料が発生する場合がありますのでご留意ください。 (スクリーンは会場で用意します)																											
学会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項																											
特になし																											

* (注1) の欄は、審査対象となりますので、具体的に記入してください。